

「現地を訪問して想うこと」

【匿名希望】

昨年の岩手県コースに続き、今回は宮城県コースに参加させて頂きました。

今回もまた被災地のことを多く学べて、また校友の方々と多くの時間を過ごさせて頂きました。

そこで被災地について思ったことは以下の3項目でした。

- ①防災庁舎の惨状には驚きましたが、それよりも驚いたことは、予想していたよりも内陸奥深くまで津波が到達していたことです。特に南三陸町では山道を波が昇ってきていた後が残っていました。
- ②プライベートでも宮城県（の中心地・内陸）にはたびたび行っていますが、宮城県の北部の沿岸部～岩手県の沿岸部の被災地は復興が遅れているように思えました。
- ③津波の被害を免れた語り部さんがおっしゃっていました神社の存在・意義が今後も重要だということ。

今後は今回実際に見た被災地；被災状況を決して忘れることなく、復興とは何かと考えて復興に少しでも力になれることを探して、行動していきたいと思っております。

その為に、まずできることは今回、見て、聞いて、感じたことを私の身の周りに人に伝えていくことだと思っております。